

◆◆◆ 安全上のご注意 ◆◆◆

PF0417
FNFH-NG

安全上のご注意

◎ 本機を正しく安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。使用者や周囲の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、次の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
 警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「人が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

- * 重傷とは、けが、やけど、感電、骨折などの傷害で入院や長期通院をした後、後遺症が残ったりするものを指します。
- * 傷害とは、治療に入院や長期通院の必要がないやけど、けが、感電などを指します。
- * 物的損害とは、家屋、財産、家畜及びペットなどにかかわる拡大損害を指します。

免責事項について

下記について、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、弊社は一切責を負いません。

- 天災、人災、弊社の責任以外の火災、製品使用者の違法、故意、過失、取扱説明書の記載を守らない事を含む誤用、その他異常な条件下での使用により生じた事故と損害
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて生じる付随的な損害、不利益（通信できなかったことで生じた損失や事業の中断など）
- 本製品の保証点検・修理を受ける際に発生する取り外し、取り付け費用弊社が関与していない接続機器やソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害
- 故障や修理のために喪失した個別の設定内容やチャンネルのデータ、表面に施された装飾やカスタマイズ用に使われた部品（ラベル類、圧着端子、ブラケット、ゴム足…）

■ 使用環境・条件

△警告

- 電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。
電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
- 内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。
- この製品同士、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。
お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。
- この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合はいかなる誤動作・不具合が生じても製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。
- 指定以外のオプションや他社のアクセサリ製品を接続しないでください。
故障の原因となります。特にアンテナは指定のもの以外を使用すると電波法に違反します。
- 本機の故障、電波環境や使用場所の状況などから通信できなかったことで発生した、逸失利益に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 機種名、数字や記号が書かれたラベル類は、絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。
技術適合の基準から外れ、違法無線機とみなされることがあります。
- 無線局の登録状の有効期限は5年です。登録状に不備がある場合や登録状を取得しない運用はしないでください。
不法無線局となり、1年以下の懲役または100万円以下の罰金を課せられることとなります。

△注意

- テレビやラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用しないでください。
電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- 湿度の高い場所、ホコリの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりして故障やけがの原因となることがあります。

- CH15は通話チャンネルではありません。
呼び出し専用です。
CH15での話し方の例：
・「〇Xさん、聞こえますか?」「はい」「CH20に移ってください」「了解です」

■ トランシーバー本体の取り扱いについて

△警告

- イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。
聴力障害の原因になることがあります。
- トランシーバーは調整済みです。
このトランシーバーをユーザーが改造、仕様変更することは法律で禁止されています。
- 直射日光があたる場所、ヒーターの吹き出し口、調理台、ストーブなど熱源の近くや温度が高くなる場所には、季節を問わず絶対に放置しないでください。
変形、変色、発熱、火災の原因となります。特にLi-ionバッテリーパックは発火の危険があります。
- 故意に水をかけたり、流水で洗ったり、マイクを外したままで使用したりしないでください。
感電・故障の原因となります。外郭保護には条件があります。
- 近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品はガス及び発破現場の近くでは使わないでください。
防爆仕様ではありません。静電気が発生して引火、爆発の恐れがあります。

△注意

- アンテナを誤って目にささないよう注意してください。
- イヤホン / マイクロホン端子には指定のオプション以外は接続しないでください。
故障の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を切り、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。
- アンテナを持って本体を持ち運んだり、振り回したり、投げたりしないでください。
けがや故障、破損の原因になります。

- ベルトクリップは体の横または背中に装着して、イヤホンマイクのケーブルも余分な長さを束ねて固定してください。
かがんだときにマイクプラグやアンテナにストレスが掛かったり、ケーブル類を引っ掛けたりすると故障の原因となります。
- スピーカーやマイク穴をステッカーやラベルなどでふさがないようにください。
音を拾わなくなり、内蔵スピーカーが故障する原因となります。
- スピーカーやマイク穴の防水クロスをはがしたり、別のシールをはらないでください。
浸水や音質不良など故障の原因になります。
- アクセサリを使わないときはアクセサリキャップをねじ込み閉めてください。
カバーが不十分だと防水機能が発揮されなかったり、遺物が無線機内部に入りやすくなったりして故障の原因になります。
- プラグは回らなくなるまでねじ込んでください。
工具を使って無理にねじ込むと壊れます。

△参考

- 無線機の状態に異常があるとエラー表示が出ます。故障を示すエラー表示もあります。
その際は、点検・修理が必要になりますので、「アフターサービスについて」をご覧ください。
その際は、点検・修理が必要になりますので、「アフターサービスについて」をご覧ください。
- 自動車やバイクなど比較的速度で移動する局との通信やアンテナが揺れるような状態で使用すると通話が安定しないことがあります。
これは電波伝搬上の理由によるもので異常ではありません。
- 秘話や個別・グループ呼出機能を使うと通話距離が若干短くなることがありますが、異常ではありません。
- 採用している防水パッキンなどの部品には寿命があります。メーカーによる IP68 相当の耐塵防水性能の保証期間は同梱の保証書と同じです。
外郭保護性能のメンテナンスに関するアフターサービスが必要な場合は、お買上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
最寄りの販売店の検索には、<https://www.alinco.co.jp> の「販売店のご案内」リンクをご利用ください。
- 静電気が溜まりやすい場所や服装でイヤホンやイヤホンマイクを装着するとき、耳に静電気ショックを感じる場合があります。
ドアノブなどに触れて感じるようなショックと同じで、漏電のような異常ではありません。
- 磁気カード類を無線機に近づけないでください。
電磁波の影響でデータが消去される可能性があります。補償いたしかねますので、ご注意ください。

■ 充電器の取り扱いについて

△警告

- AC アダプターは AC100V 以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。
- 充電器の AC プラグのコードをタコ足配線しないでください。
加熱・発火の原因となります。
- ぬれた手で充電器の AC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。
感電や故障の原因となります。
- 充電器の AC アダプターを、AC コンセントに確実に差し込んでください。
AC アダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
- 充電器や AC アダプターの刃に、ホコリが付着したまま使用しないでください。
ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。
- トラッキング現象による火災を防ぐため、コンセント周りは定期的に清掃してください。

△注意

- 充電器の AC アダプターを抜くときは、コードを引張らないでください。
断線の原因となり、火災・感電・故障する的原因となることがあります。
- 必ず AC アダプターを持って抜いてください。
- 熱器具に近づけないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。

■ バッテリーパックの使用上の注意について

△注意

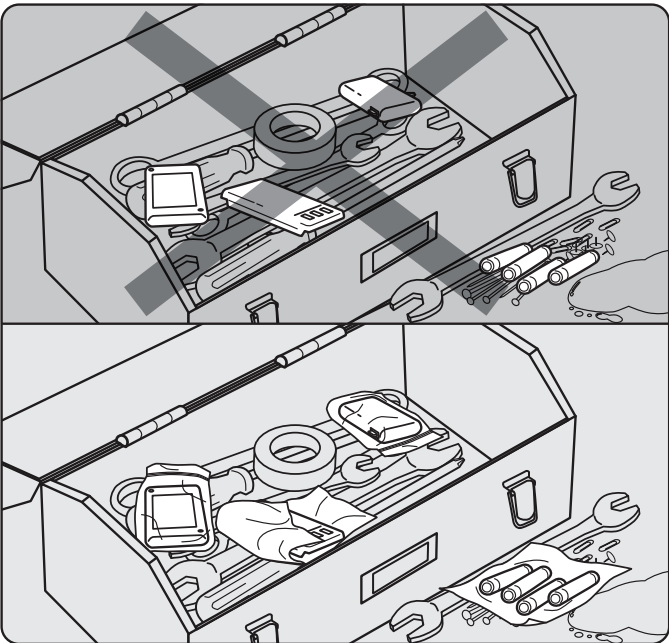
- 指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、直ちに充電を中止してください。
充電をつづけると、発煙や発火を起こす危険性があります。
- バッテリーパックは消耗品で、製品保証の対象ではありません。
規定の時間充電しても使用時間が著しく短くなった場合は寿命です。Li-ion バッテリーはこの状態で使用を続けると、発煙や発火のリスクがあります。
- バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。
機器の損傷や、バッテリーの発熱による火傷の原因となることがあります。
- 無線機本体の電源を入れた状態で、指定時間以上充電をしないでください。
繰り返し行うことにより、発煙や発火の原因となります。

- バッテリーパックの改造、分解、火中・水中への投入は絶対にしないでください。
発熱・破裂などの可能性もあり、大変危険です。

■ バッテリーパックの持ち運びについて

△注意

乾電池やバッテリーパックを持ち運ぶときは、以下のことにご注意ください。
端子をショートさせると大電流が流れて火災、火傷の原因になります。
1.5V の単三乾電池でも数分程度で、90℃以上の温度になるので十分な注意が必要です。



- 金属製のもの（ネックレス、プレスレット、キー…）が入ったバッグや金属製のケース（工具箱…）などに直接入れないでください。
- 雨や雪、波しぶきなどが直接かかるような状態では持ち運ばないでください。
真水や塩水は電気を通します。

- 電池を持ち運んだり保管する場合は、必ず 1 個ずつビニール袋にいれたり布で包むなどしてショートしないようにしてください。
- 長期間使用しない場合は電池を無線機から外して、直射日光が当たらない、できるだけ湿度の低い冷暗所で同様の配慮をしたうえで保管してください。
補充電については別途充電器の項目でご説明しています。
- 廃棄のため電池類を保管する場合は必ず端子部分にセロテープを貼るなどしてショートしないようにしてください。

■ 異常時の処置について

△警告

以下の場合、すぐ本体の電源を切って、バッテリーパックを取外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
修理はお買い上げの販売店、または弊社サービスセンターにご連絡ください。
お客様による修理は法令により禁止されていますので、絶対におやめください。

- 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- 落したり、ケースを破損したりしたとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- AC アダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

屋外での使用時に雷が鳴り出したら、急いで安全な場所に避難してください。
充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いて、雷が止むまでお待ちください。
なお、本製品は雷に対する保護や保証はいたしておりません。

■ 保守・点検

△警告

- 本体や充電器のケースは開けないでください。
けが・感電・故障の原因となります。
- 内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。

■ 保守・点検

△注意

- お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を切り、バッテリーパックを取外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

- 汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質するおそれがあります。
- 美観上以外にトランシーバーを長く正常にお使いいただくために定期的な清掃は大変有効です。

■ 廃棄

△注意

- 廃局届を管轄の総合通信局に提出してください。
手続きや書類は総合通信局のホームページをご覧ください。手続きをしないと電波利用料が請求される、譲渡した人の登録手続きができないなどのトラブルの原因となります。
- 廃棄方法はラジオなどの小型家電と同じです。
- バッテリーパックはリサイクル資源です。
古くなったバッテリーパックは金属端子にテープ（セロハンテープ、ビニールテープ、ガムテープなど）を貼り、電流が流れない状態（絶縁）にしてお住まいの自治体の指示に従ってリサイクルしていただくか、弊社サービスセンターへご相談ください。

■ 運転中の無線機の使用について

△注意

- 運転中に携帯型無線機を手に持って操作しないでください。
このような行為は運転中の携帯電話使用と同様に罰せられます。
- 無線機の運用は必ず安全な場所に停車してから行ってください。
ただし、スピーカーマイクでの通話は認められています。
- 外部に音が聞こえないような状態にして運転しないでください。
外部アンプや、大型スピーカーをつないで周りの音が聞こえないような大音量で受信したり、耳を完全に覆うタイプのヘッドホンを使ったりすると罰せられることがあります。
- 一部の地方自治体では運転中にイヤホン・ヘッドホン類を使用すること自体を規制していますので、ご不明な点は最寄りの警察署などにお尋ねください。
- 無線機をベルトクリップなどで体に装着して運転しないでください。
アンテナや付属品が引っ掛かり、運転の支障となることがあります。そちらに注意を引かれると前方不注意の原因となります。